横須賀市議会

よこすか市議会だより

YOKOSUKA CITY COUNCIL

No.46
令和4年(2022年)
11月5日号

〒238-8550 横須賀市小川町11番地　☎046(822)9394[市議会議会局議事課]
横須賀市議会　検索　pd-ccs@city.yokosuka.kanagawa.jp

発行　横須賀市議会
編集　広報広聴会議

令和4年9月9日、議場において議員研修会が開催されました。「サイバーセキュリティ」というテーマで株式会社FFRIセキュリティ専務取締役最高技術責任者である金居良治氏の講義がありました。市議会では、議員の政策形成及び立案能力の向上のため、年2回、議員研修会を開催しています。

次回は、12月12日(月)午後2時から「変化を力に生きる時代～渋沢栄一の合本主義に学ぶ～」というテーマで横須賀商工会議所会頭平松廣司氏に講義をいただきます。

傍聴は当日の開会30分前から市役所R1階にて先着順で受け付けします。

過去最多数の補正を組んだ決算を審査

9月定例議会

8月29日～10月4日まで37日間の期間で9月定例議会を開催しました。

11人の議員が2日間、一般質問を行い、市長・教育長と議論を交わしました。**(3面に質疑項目を掲載)**

また、米海軍横須賀基地からのPFOS等(有機フッ素化合物)の流出について、緊急質問を行いました。

今回の定例議会は、40件の議案を審議しました。補正予算では、新型コロナウイルス感染症にかかるオンライン診療を行う医療機関への支援や、抗原簡易検査キットの配布についてなどが審査され、コロナ対策等に臨機応変に対応するため第15号と過去最多数となる補正予算を含んだ令和3年度の決算議案についても、それぞれの分科会で詳細な審査を行い、本会議で討論の後、採決の結果、いずれも可決・認定・同意しました。

また、5件の陳情を各常任委員会で審査を行いました。

最終日の4日には、追加の補正予算として、住民税非課税世帯に対する電気・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金や、福祉事業所及び教育・保育施設等に対する物価高騰対策緊急支援、半原水源系統取水口撤去工事費の補正等が出され、全会一致で可決成立しました。**(4面に審議結果)**

また、横須賀海軍施設における排水処理施設からのPFOS等含む排水への早期対応を求める決議について、本会議で討論の後、採決の結果、全会一致で可決しました。

議会が行う決算審査は、前年度の予算執行について、適切に行われたのか、事業効果や結果をどう捉えているか等質疑が交わされ、検証や評価、また反省点なども含め、来年度予算編成に反映させる重要なものです。長引く新型コロナ感染症対策と合わせて幅広い視点で審査を行いました。

うわまち病院跡地の利活用について審査

うわまち病院は老朽化が進み、令和7年3月に神明町への移転が決定しています。その跡地の利活用について、委員会で報告を聴取し、質問を行いました。

南館エリアは、平成18年完成と比較的新しいため、建物を含めた利活用について、医療・看護系大学等への転用に向けた検討が進められています。

うわまち病院

また、本館エリアは、建物の老朽化が進んでいるため、建物解体を前提に、地域住民へのヒアリングと事業者へのサウンディング調査を行い、跡地活用に向けた検討が進められています。

今後のスケジュールとして、令和4年度にサウンディング調査、令和5年度から測量、令和6年度後期から土壌調査・対策、令和7年3月にうわまち病院の移転、令和8年度から建築物の解体が予定されています。

主な質疑

問 地域の意見や要望はどのように吸い上げていくのか。

答 9月初旬から地元説明会を行う。サウンディング調査の結果と地元の方々の意見がなるべく合致していくよう、丁寧に説明して意見を伺っていきたい。

問 これから看護系大学の検討をしていく中で、市立看護専門学校の在り方はどのように考えているのか。

答 同校が果たしている役割は大きい。同校の9割の卒業生は地元で就職をしている。地域医療のために看護師を育成しているという大きな命題がある中で、同校の役割と新しい大学との関連性をよく見極めて様々な議論をしていきたい。

福祉の総合相談窓口について審査

福祉の総合相談窓口である「ほっとかん」では、様々な不安や困りごとを抱える方への相談を一括して受け付け、関係課や専門機関等と協力しながら、一緒に解決策を考える総合相談事業に取り組んでいます。決算審査において、相談を受けるうえでの課題などについて質疑を行いました。

主な質疑

問 令和3年度から事業を開始し、9,626件の相談があった。様々な相談を受ける中での課題は何か。

答 8050問題に代表されるように高齢化のみならず地域、家族関係が希薄な社会構造の中での支え合いをどう作っていくべきか、制度だけでは解決できない問題があり、難しいと感じている。

問 職員のスキルアップにどのように臨んでいるのか。

答 職員間でのケース会議を行っているが、時には専門家の意見も聞きながら法律的、医療的な面からも研さんを積んでいる。

問 難しい案件を抱える中で、職員が相当なレベルアップをしたのではないか。

答 制度への理解もさることながら、相手の気持ちの汲み取りなど、信頼関係を作ることについても職員は成長したと感じる。

浦賀地域におけるMEGURU PROJECT 2022の補正予算を審査

昨年に続き、浦賀地域を中心とする東エリアの観光拠点としての価値を高める取組みである「MEGURU PROJECT 2022」が11月12日から12月11日までのうち、土日祝日の計11日間開催されます。

開催にあたり、会場設備や全体のプロモーションなどイベント全体にとって必要かつ有益な、会場の賑わい創出に繋がる経費について750万円の補正予算を計上する議案が提出されました。

MEGURU PROJECT2022イメージ

前回実施された浦賀港周遊歴史満喫クルーズ、浦賀ドック・千代ケ崎砲台見学ツアーに加えて、今回からは新たに熱気球体験、鉄道×船スペシャルコラボツアー、オープントップバス運行、浦賀街歩き・謎解きツアー、浦賀ドックライトアップ、旅行会社による各種ツアー造成を実施。また、BMX・ストリートダンスとの連携イベント、横須賀ゆかりのアーティスト等による音楽イベント、プロジェクションマッピング、浦賀の歴史紹介のコンテンツを実施するという提案があり、委員会にて審査を行いました。

主な質疑

問 前回実施した際の来場者数と経済効果、そして今回の目標は。

答 前回の来場者数は27日間で16,334人、経済効果は3,853万円余だった。今回は11日間で来場者数3万人、経済効果8,000万円強を目指したい。

問 前回の課題点と改善すべき点は。

答 各イベント間のタイムスケジュールの隙間時間が多く、時間を持て余したという声があった。今回は会場全体が常ににぎわっている雰囲気づくりが一番の課題として捉えている。

問 様々な新規の取組みや来場人数の増加は良い事だが、イベントが大きくなることにより事故や怪我が増えるリスクも高まるため、しっかりと管理してほしい。

答 浦賀ドックなど段差の多い箇所もあるので、安全に対しては関わる全員で細心の注意を払って運営する。

問 観光政策では来場数だけでなく街でお金が使われる仕組みが必要。土産店や飲食店、宿泊場所が少ない浦賀地域においてどの様にお金を使っていただくのか。

答 その課題は今後も続いていく。今回は国からの補助金を受ける実証実験の意味合いもあるので、飲食の提供方法や夜のイベント開催等、様々なチャレンジをして、今後の可能性も探っていきたい。

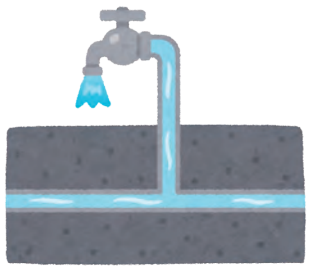
問 気球やダンス、BMXなど浦賀とは直接関係のないコンテンツが多く、浦賀ならではの特徴を主眼においた取組みにするべきではないか。

答 浦賀ならではの特徴を主眼に置きながらも、まずは多くの方に来ていただくきっかけを作るためのあらゆる手段に挑戦していきたい。

水道料金及び下水道使用料の改定について審査

水道料金及び下水道使用料を改定するための横須賀市水道事業給水条例及び横須賀市下水道条例を改正する議案が提出され、委員会で審査を行いました。

改正の主な内容としては、水道料金については基本料金に含まれる基本水量の廃止、メーター口径別の基本料金の改定、従量料金の改定等、下水道使用料については基本使用料に含まれる基本水量の廃止、従量使用料の改定等です。これらの背景には、人口の減少及び節水機器の普及等に伴う水需要の減少や、大口使用者の使用水量の減少・少量使用者の増加など、水の使われ方が変化したこと等があります。本会議にて反対の討論がありましたが、採決の結果、賛成多数で可決しました。



主な質疑

問 水道料金の平均改定率を0%にした理由は何か。

答 水道事業の経費のうち固定費が9割である一方で、収入のうち基本料金は3割に満たない状況。まずはこの比率を改めるための仕組みの見直しを行った。これと同時に値上げ改定を行うことは一般家庭への影響が大きいと判断し、今回は仕組みの見直しのみとした。

問 財源獲得が困難である中、今後の見通しについてはどのように考えるか。

答 まずは当たり前に皆さんが水道水を利用できるよう、そして下水も処理できるよう、目指していきたい。今後、DX、また太陽光発電等も含めて、今までと全く異なることにもチャレンジしなければいけない状況が出てくる。きちんと方向性を示していきたい。

問 水道使用量が全体として下がっている中で、とりわけ独り住まいの世帯が増えて、1世帯当たりの水道使用量が2か月で10立方メートル以下という世帯が増えている。今回の改定ではそういった世帯に対する料金の改定は従前とそこまで変わっていない。市民が不公平感を感じることのないよう、今後さらなる検討を進めてほしいがいかが。

答 今回の料金改定では、基本水量をなくすということと基本料金をどう設定するかというところで少しバランスが崩れた部分がある。委員の今の意見を受け、市民の皆さんにご理解いただけるような料金体系を考えていきたい。

問 今回の改定を市民に分かりやすく説明・周知することについて、どのように考えるか。

答 検針時に使用水量のお知らせを各家庭に配布しているが、その裏面を利用して広報を行っている。本議案の議決後には、自分の家の使用料がどのぐらい改定されるのかが分かるような料金の一覧表のようなものを各家庭に配布できればと考えている。

防災対策に係る見直しの進捗状況と令和3年度決算について質疑

前回市議会だより第45号でお伝えした災害時の避難所開設及び運営方法の見直しに続き、今定例議会では防災対策見直しの進捗状況について報告がありました。震災時避難所の開設基準を近年の実情を踏まえて震度5強に改め、また避難所の支援に向かう職員の行動指針を定めたとのことです。また災害時の対策については決算審査でも多くの質疑がありました。

主な質疑

問 市役所開庁時に大規模地震が発生した場合は、全ての支援班員を原則として徒歩で避難所に向かわせるということだが、場所によっては3～4時間かかる。少しでも早く到着したほうがいいのではないか。

答 各地域に避難所運営委員会があり、また学校も開いている時間帯なので、支援班員の到着に多少時間がかかっても、地域で対応できると考えている。

問 避難所運営マニュアルが事細かに記載されている一方で非常に複雑に感じる。災害時、実際にマニュアルを生かしていけるか。

答 その時の災害状況によって、臨機応変に対応できるよう避難所運営訓練の中で伝えていく。

問 防災対策は地域が主体になることが大事。地域のリーダーづくりも踏まえて政策づくりを。

答 避難所の実情に合わせて柔軟に対応し、市民を取り残さないようにしたい。

問 避難所運営委員会と自主防災組織の位置づけが理解しにくい。予算執行の在り方も含めて検討が必要なのでは。

答 自主防災組織は町内会にあり、避難所運営委員会は複数の自主防災組織が集まって学校単位で組織している。うまく説明ができるように考えていきたい。

問 災害用備蓄食料の処分方法について、市民への食料支援という形も含めて検討しては。

答 これまでは経済効率から期限ぎりぎりまで備蓄して、その後処分という形でやってきたが、支援の方法も含めて検討していきたい。

問 災害時要援護者支援対策とはどのような内容か。

答 災害時に一人では避難が難しい方を地域の方たちで支援していただくものである。本人からの申し出で支援が必要な方の名簿を作成し、町内会に提供している。

問 要援護者支援が進んでいない地域への支援を進めていただきたいが。

答 共助の力が問われる大きな課題。要援護者の登録は8,000名強で、地域の協力がなければ対応は難しい。地域に対してより働きかけていく中で、少しでも多く取り組めるようにしていきたい。

議員定数40人➡39人へ 来春の市議選から

横須賀市議会では前回の改選時に、議員定数を41人から40人に削減しました。今回、本市の人口減少と財政状況をふまえ、改めて議会制度検討会議で議員定数の見直しについて議論することを決定し、令和2年3月から今年9月まで、延べ19回にわたり検討してきました。

協議では、市政に多様な市民意見を十分に反映させることができるかという観点や、本市固有の地域課題を踏まえ「現状維持が妥当である」という意見が出されました。一方、コロナ禍における市民生活や地域経済への多大な影響、また、これらの状況に対応するための様々な対策の実施により、さらに厳しくなった本市の財政状況を踏まえると、議員定数が現状どおりでは市民の理解を得ることが難しいと判断し、最終的には定数削減で意見が一致しました。

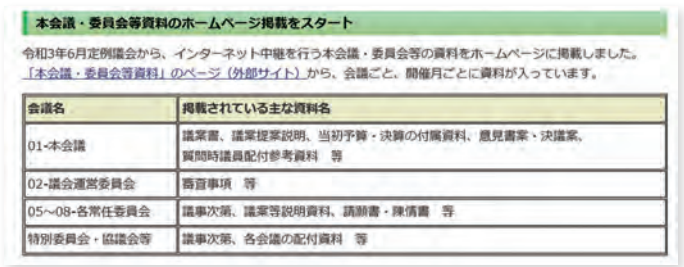
削減数については、①議会の監視機能の低下、②議会改革の推進に支障をきたすおそれがあること、③コロナ禍のもとで市民の暮らしや環境が大きく変化する中、多様化・複雑化する市民ニーズを的確に把握し市民福祉の向上につなげていくためには、相応の議員数が必要であること等を考慮の上、1人とすべきと結論付けました。

本会議最終日、議員定数を1人削減する議会基本条例等の改正案を提出し、本会議で討論の後、賛成多数で可決しました。

デジタル技術で議会をより身近に

●本会議・委員会等の会議資料をHPからご覧いただけます

令和3年6月定例議会から、インターネット中継を行う本会議・委員会等の資料を市議会ホームページに掲載しています。これまで傍聴者にしかご覧いただけていなかった資料を、議会HPにリンクしたクラウドストレージから閲覧・ダウンロードいただけます。「本会議・委員会等資料」のページ（以下の二次元コードからアクセス可）に、会議ごと、開催月ごとに議案書や説明資料などの資料がアップロードされています。ICT技術を活用し、〝開かれた議会〟をさらに推進してまいります。



本会議・委員会等資料のホームページ掲載をスタート

令和3年6月定例議会から、インターネット中継を行う本会議・委員会等の資料をホームページに掲載しました。
「本会議・委員会等資料」のページ（外部サイト）から、会議ごと、開催月ごとに資料が入っています。

会議名	掲載されている主な資料名
01-本会議	議案書、議案提案説明、当初予算・決算の付属資料、意見書案、決議案、質問時議員配付参考資料　等
02-議会運営委員会	審査事項　等
05～08-各常任委員会	議事次第、議案等説明資料、請願書・陳情書　等
特別委員会・協議会等	議事次第、各会議の配付資料　等

市議会ホームページにある「本会議・委員会等資料」のページ入口

会議ごとの資料を掲載したクラウドストレージのページ

「本会議・委員会等資料」のページはこちら⬇

●オンラインを活用した委員会・協議会を開催

これまで委員会室・会議室に参集して会議を開催してきましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止等の観点から、委員会・各種協議会においてもオンラインを活用して、会議を開催できるように委員会条例等を改正しています。すでに新型コロナウイルス感染症対策検討協議会、広報広聴会議、そして議会ICT化運営協議会などでもオンライン開催を実施しています。この取り組みは大規模災害時等においても議会機能を業務継続させる観点から有効であると考えられます。

オンライン会議の様子（新型コロナウイルス感染症対策検討協議会）

9月定例議会　一般質問

よこすか未来会議 **小幡沙央里**	①重層的支援体制整備事業を始めることについて ②社会福祉協議会について ③ヤングケアラーへの支援策の構築について ④産後ケア事業の充実について
公明党 **本石篤志**	①国の孤独・孤立相談ダイヤル「＃9999」に関連する本市の対応について ②本市偽HP出現を受けたHP利用者の安全確保について ③計画停電時など非常時の市立学校等の電源確保について
自由民主党 **青木哲正**	①紙の広報を読まない若い世代への情報伝達の在り方 ②情報媒体の主体をHPから公式LINEに置き換える必要性 ③LINEなどを使ったデジタルアンケートの有効性 ④行政情報を動画で繰り返し使う事は可能か
日本共産党 **大村洋子**	①猛暑の夏を乗り切るために生活保護利用者にエアコンを ②有毒フッ素が米軍基地から垂れ流し。早急に原因究明を ③安倍元首相国葬関連の半旗掲揚、黙とうは中止すべき ④九州フェリーの今とこれから、新規埠頭整備の実現性
日本共産党 **井坂 直**	①民生委員の実情と課題をとらえて、担い手不足の解消を ②樹木管理と山の手入れ、みどりの保全を防災対策として ③再エネ導入を推進する取組と、庁内の節電を効果的に ④石炭火力発電所の稼働はゼロカーボン実現と逆行では
よこすか未来会議 **加藤ゆうすけ**	①乳幼児期の障害児支援について ②学齢期の障害福祉について ③小中学校の水泳授業を再考することについて ④水泳授業を外部の専門家に段階的に委ねることについて
自由民主党 **南まさみ**	①大矢部弾庫跡地の文化財的価値と専門家を交えた試掘調査の必要性や活用に向けた今後の取組について ②本市における危機管理と災害対応や今後の展望について ③新港地区第二埠頭の整備事業における財源措置について
公明党 **土田弘之宣**	①高校3年生までの小児医療費無償化について ②いじめ防止に向けたピンクシャツデーの取組について ③子宮頸がんと帯状疱疹のワクチン、糖尿病重症化対策 ④男性用トイレへのサニタリーボックスの設置について
小室卓重	①市の施設における防火管理者について ②「生活保護の申請は権利」ポスター制作・掲出について ③命に関わる既存の情報を確実に浸透させることについて ④各種審議会等会議録の発信を早めることについて
小林伸行	①旧統一教会系団体との関わり ②市民団体の報告会の後援申請を不承諾とした理由 ③中学校校則の自由民主化／教員不足「非常事態」対応 ④フェリー誘致と新港第二埠頭の検証
よこすか未来会議 **髙橋英昭**	①DXの推進について ②地域生活相談員事業の体制等について

発言通告の全文はこちら➡

9月定例議会　審議結果

○＝賛成、×＝反対

賛否が分かれた議案	会派				無会派					
	自由民主党	よこすか未来会議	公明党	日本共産党	木下義裕	小林伸行	小室卓重	杉田惺	はまのまさひろ	藤野英明
	12人	12人	7人	3人						
議会議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例中改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
横須賀市水道事業給水条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
横須賀市下水道条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
池上コミュニティセンターの指定管理者の指定について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
猿島公園トイレ新築工事請負契約の変更契約締結について	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×
久里浜1丁目公園グラウンドほか整備工事（その1）請負契約の変更契約締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
久里浜1丁目公園グラウンドほか整備工事（その2）請負契約の変更契約締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
久里浜1丁目公園管理用建物その他新築工事請負契約の変更契約締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
久里浜1丁目公園管理用建物その他新築電気設備工事請負契約の変更契約締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
久里浜1丁目公園管理用建物その他新築機械設備工事請負契約の変更契約締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
令和3年度横須賀市一般会計歳入歳出決算	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×
令和3年度横須賀市特別会計国民健康保険費歳入歳出決算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
令和3年度横須賀市特別会計介護保険費歳入歳出決算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
令和3年度横須賀市特別会計公債管理費歳入歳出決算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
令和3年度横須賀市特別会計後期高齢者医療費歳入歳出決算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
令和3年度横須賀市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
令和3年度横須賀市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
令和3年度横須賀市病院事業会計決算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
教育委員会委員選任について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
横須賀市議会基本条例中改正について	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○

※その他議案20件については、全会一致で可決、認定または同意しました。詳細は市議会ホームページにも掲載しておりますので、ご覧ください。　※議長は、議事を取り仕切る立場から、採決には加わりません。

会派所属議員名　令和4年10月4日現在

自由民主党　加藤眞道　南まさみ　青木哲正　青木秀介　田辺昭人　松岡和行　大野忠之（議長）　渡辺光一　西郷宗範　山本けんじゅ　田中洋次郎　大貫次郎

よこすか未来会議　髙橋英昭　嘉山淳平　伊関功滋　小幡沙央里　加藤ゆうすけ　工藤昭四郎　竹岡 力　角井 基　永井真人　長谷川昇　葉山なおし　堀りょういち

公明党　板橋 衛　土田弘之宣　石山 満　関沢敏行　本石篤志　二見英一　川本 伸

日本共産党　大村洋子　ねぎしかずこ　井坂 直

決議

件名	結果
横須賀海軍施設における排水処理施設からのPFOS等含む排水への早期対応を求める決議	可決（全会一致）

陳情

件名	結果
国交正常化50周年に際し日中不再戦、平和友好の外交を求める意見書の提出について	審査終了
衣笠十字路の歩行者交通の在り方に関する検討について	趣旨了承
配慮ある重度障害者医療費助成施策の実施について	審査終了
障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援について	審査終了
不登校児童生徒に対する多様な学習機会確保のための経済的支援制度確立を求める意見書の提出について	審査終了

「審査終了」とは、委員の意見が一致しないなど委員会としての結論が出せずに審査を終えた場合を言います。

編集後記

物価高騰が生活を直撃する中、9月定例議会では、市立の学校と保育園等の給食費の値上げを回避するための予算など約4億5千万円の補正予算が成立しました。生活者目線に立った議論で市民生活を守って参りたいと思います。

編集：広報広聴会議（◎＝委員長、○＝副委員長）◎髙橋英昭／○石山 満／大貫次郎／渡辺光一／松岡和行／田辺昭人／竹岡 力／嘉山淳平／二見英一／井坂 直／小林伸行

令和4年12月定例議会の予定

開催日	会議名
11月17日（木）	予算決算理事会
11月18日（金）	議会運営委員会
11月28日（月）	議会運営委員会
11月29日（火）	本会議、予算決算常任委員会（本会議終了後）
12月 2 日（金）	民生常任委員会（予算決算分科会） 都市整備常任委員会（予算決算分科会）
12月 6 日（火）	総務常任委員会（予算決算分科会） 環境教育常任委員会（予算決算分科会）
12月 8 日（木）	特別委員会（設置された場合）
12月12日（月）	予算決算理事会、予算決算常任委員会（11時）
12月14日（水）	議会運営委員会、本会議（14時）

11月30日（水）・12月5日（月）・7日（水）・9日（金）、13日（火）は予備日です。
インターネットで中継もご覧になれます。（本会議は手話通訳も同時に行っています。）
時間の記載がないものは10時開会。開会日時は変更される場合があります。
傍聴のご案内など最新の状況は市議会HPか議事課でご確認ください。

ツイッターの紹介

横須賀市議会では市民の皆さんに市議会での取組みをより身近に感じていただくために、そして市議会の情報をいち早くお届けするために、令和2年6月に「横須賀市議会公式ツイッター」を開設しました。ツイッターとは140字以内の文章を無料で投稿・発信・閲覧できるインターネット上のコミュニケーションサービスです。インターネットを使用できる環境があれば、誰でも読むことができます。横須賀市議会ツイッターでは、委員会等の開催日程や市議会インターネット中継へのアクセスも簡単になっていますので、ツイッターをされている方は、是非フォローをお願いします。市議会では、市民の皆さんにより身近に感じていただくために、今後も様々なお知らせをお届けしてまいりますので、よろしくお願いいたします。

横須賀市議会公式ツイッターは下の二次元コードから！

「よこすか市議会だより」は88,000部製作し、1部当たりの印刷経費は6.0円です。　よこすか市議会だよりは、紙へのリサイクルに適した材料〔Aランク〕のみを用いて製作しています。

UD FONT